

日本語タイトル<14 pt ゴシック, Arial>

English Title <12 pt Arial>

○著者 1, 所属機関略称, 所属機関住所, E-mail: <10 pt 明朝体, Times>

著者 2, 所属機関略称, 所属機関住所, E-mail:

Author 1, Affiliation, Address <10 pt Times>

Author 2, Affiliation, Address

This is a simple example of how to prepare the paper for JSFM Meeting. The headings should appear as above. The instruction is written in the main body. This is a simple example of how to prepare the paper for JSFM Meeting. The headings should appear as above. The instruction is written in the main body. This is a simple example of how to prepare the paper for JSFM Meeting. The headings should appear as above. <Abstract 100-150 words, 9 pt Times>

1. 提出物<9 pt ゴシック, Arial>

提出物は以下の 1 点のみです。<9 pt 明朝体, Times>

- (1) 講演原稿 (PDF, CD-ROM への掲載): A4 版 2 段組, 10 枚以下 (標準 2~4 枚, カラー可)

ただし PDF のファイルサイズは 3.5 MB 以内とします。この容量を超える場合には、実行委員会までご相談下さい。

PDF ファイルは、以下の手順で作成して下さい。まず、Word, TeX 等の適当なソフトウェアを用いて図表すべてを貼り込んだ原稿を作成し、その後、Adobe 社製 Acrobat 等を用いて Acrobat 5.0 以上互換フォーマットで PDF ファイルに変換して下さい (PDF ファイルの作成が困難な方は、実行委員会まで E-mail でご連絡下さい)。作成した PDF ファイルを年会ホームページ (<http://www2.nagare.or.jp/nenkai2017/>) の記載にしたがってアップロードすれば、講演原稿の提出は完了です。なお、実行委員会では、例年ご投稿いただいた PDF ファイルの確認作業に多くの時間を要しております。原稿を投稿される際は文字化けなどが発生していないかよくご確認ください。原稿の修正を折り返し依頼する必要がないようご協力をお願い致します。お送りいただいた講演原稿は USB メモリに収録し、当日受付にて配布します。なお、講演原稿のアップロード時に USB 収録へのご同意をお願いしております。著作権の譲渡はございません。

2. 原稿用紙

A4 版用紙の上下に 20 mm, 左右に 15 mm の余白をとり、本文は原則として 9 ポイントの文字を使用して印字して下さい。また、表題、著者名、所属、英文要旨の部分を除いて 2 段組みで作成して下さい。英文原稿も受け付けますが、その場合でも 2 段組みと上下左右の余白を守って下さい。ページ番号は、フッターに 1 から順に付けて下さい。

3. 体裁

論文は体裁は以下の通りです。

- ・和文題目: 14 ポイント・ゴシック体, Arial フォントで用紙中央に印字する。なお、表題、著者名の変更はできません。
- ・英文題目: 12 ポイント・Arial, Helvetica, cm (bold) フォントで用紙中央に印字する。Main Words の最初の文字のみ大文字とする。
- ・和文著者名: 10 ポイント・明朝体で英文題目との間を 1 行空け、著者氏名と所属機関名略称、住所、(可能ならば) E-mail アドレスを書く。また、講演者の名前の前に○を付ける。
- ・英文著者名: 10 ポイント・Times, Times New Roman, cm フォントを用い、英文で著者名、所属機関名、住所を書く。

- ・英文要旨: 9 ポイント・Times, Times New Roman, cm フォントを用い、英文著者名との間を 1 行空け、100-150 words 程度で幅 150 mm に収まるように記載する。
- ・本文: 英文要旨との間を 1 行空け、9 ポイントの明朝体を使用して記載する。
- ・章及び節のタイトルにはゴシック体/Arial フォントを用いる。
- ・図表: 鮮明かつ適当な大きさのものを、Fig. 1 のように本文中の参照する文章近くの適当な位置に貼付する。図表中の文字及び表題は英文とする。
- ・文献: 例えば、この ⁽¹⁾ ように引用し、末尾にまとめる ⁽²⁾。

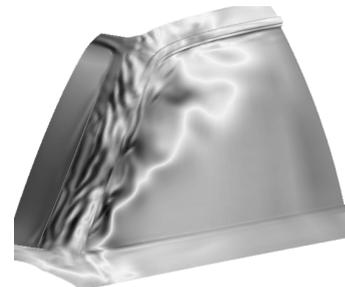


Fig. 1 A sample of figure

4. 原稿提出期限

原稿の提出締切は **20XX 年 7 月 XX 日** です。締切を厳守して下さい。期限を過ぎますとキャンセルとみなされる場合があります。

5. 原稿提出先

- (1) 講演原稿の PDF ファイルは、年会ホームページ (<http://www2.nagare.or.jp/nenkai20xx/>) の記載にしたがって提出して下さい。
- (2) ご不明な点などは、実行委員会宛に E-mail にてお問い合わせ下さい。
日本流体力学会年会 20xx 実行委員会
- (3) この overleaf テンプレートは流体力学会 LaTeX テンプレートを用いて作成しました。 E-mail: asekimoto@cheng.es.osaka-u.ac.jp

参考文献

- (1) 荒川, 谷口, "論文の書式について," 日本流体力学会年会 2003, 1 (2003), pp. 1-1.

- (2) Arakawa, C. and Taniguchi, N., "How to prepare the paper," Proc. 17th CFD Symp., 1 (2003), pp. 1-1.